



花さき山

タイトル文字: 滝平二郎

ブックスタートクラブ

【幼児向けおはなし会】

1月11日、25日⇒午前10:00～

18日⇒午前11:00～

※いずれも水曜日です。

11日、18日のおはなし会は、**児童室**で行います。視聴覚室開放は**25日**のみとなります。

1月のおはなし会

《図書館スタッフ》(児童室)

いつ: 1月7日(土)

時間: 午前11:00～

《「やまびこ」さん》(児童室)

いつ: 1月15日(日)

時間: 午後3:00～



音読会

場所: 明野図書館 視聴覚室

日時: 1月24日(火)

午前11:00～12:00

気軽に発声練習してみませんか?

もちろんお子さんも参加できます☆

1月のテーマも、『歌舞伎』!

1月の映画会

一命

場所: 明野図書館 視聴覚室

日時: 1月28日(土)

午前10:00～

(上映時間: 127分)

大人向けの映画です!お申込不要。

本の福袋

～in 明野図書館～

期間: 1月5日(木)～15日(日)

対象: 0歳～中高生

内容: 福袋は限定90個! 無くなり次第、終了となります。

どんな本が入っているのか...お楽しみに☆

※福袋に入っている本はすべて貸出用です。

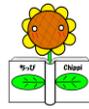
必ずカウンターにて貸出手続きを行ってください。

1月の特集 テーマは「歴史」!

2017年1月、新しい年の最初のテーマは、「歴史」です! カウンター前の特集コーナーにて、歴史をテーマにした本をご紹介します☆

難しい本ばかりじゃないですよ?

ぜひ、お立ち寄りください (*^_^*)



「本県教育の目標」制定時の思い出（その一）

塚越喜一郎

茨城県では昭和38年、長期的な展望に立って教育振興を計画的・総合的に進めるため、初めて教育振興計画を策定しました。そしてその上に昭和44年に次のような「本県教育の目標」を制定しました。

本県教育の目標

ひとりひとりの能力を開発し、豊かな人間性をつちかう。

じょうぶな身体をつくり、たくましい心を養う。

郷土を愛し、協力しあう心を育てる。

以上の「本県教育の目標」の額は、現在も県内の殆どの小中高校の校長室等にかかげられ、全教職員の目標となっています。この目標は名筆、関南沖先生に揮毫して頂いたものです。

私はその文章を作成した者の一人なので作成時の思い出をまとめました。

目標の作成は、全県教育委員、教育長、次長、全課長で協議しました。

第一については、それがこの目標の中心なので非常に難しく、いろいろな意見は出ましたが、まとまらない。その後藤勤治教育長が遠慮がちに、私は「ひとりひとり」という言葉を入れたいという発言がありました。それを聞いたとたんに大須賀発蔵教育委員長が、「それだ」「それだ」と賛成しました。そして「ひとりひとりの能力の開発」という文章が生まれました。

この「ひとり、ひとり」は現在では当然のことで珍しくありませんが、当時としては初めてでした。大げさに言えば革命的だったのです。しかしこれは2500年も昔孔子はこれを実践し立派な成果を挙げていました。

ここでいう「能力」とは「生きる力」であり、「確かな学力」、「豊かな人間性」「健康、体力」の総合力で、これが人間の一生を左右するものです。

ここで「開発」という言葉に疑問が出されました。「開発」という言葉は経済用語、土木用語としての感じが強く、教育用語としては不適切ではないかという意見でした。しかし、「開発」という言葉は「潜在している才能などを引き出し伸ばす」という意味があるので不適切ではないと決まりました。

続いて「豊かな人間性」です。とくに議論された記憶はありませんが、後までこの「豊かな人間性」の内容は漠然としたままでした。私は、孟子の惻隱の心、羞惡の心、辞讓の心、是非の心、これらが人間性の内容だと思えます。

第二の健康、体力については、あまり意見を戦わせた記憶がなく、割合すんなりと「じょうぶな身体をつくり、たくましい心を養う」と決まりました。

第三は郷土愛と協力です。ここでの郷土とは生まれ育った所謂郷里だけではなく、それも含みますが現在住んでいる地域が中心と考えました。

ここではいろいろな意見が出ましたが次のように決まりました。

「郷土を愛し、協力し合う心を育てる。」

(つかごし きいちろう・元茨城県教育次長・元下館市教育長)